

第六回日本保育大會開催要綱

一、趣旨

全国保育関係者の参集を求め乳幼児保育の全般につき審議し、その総意を結集すると共に社会全般の深い理解を求め、保育事業の画期的振興を図る。

二、名稱

第六回日本保育大会

三、主催

日本保育連合会

四、主管

中国地区保育連合会、島根県保育連合会、島根県教育委員会
島根県 松江市

五、後援

中国五県教育委員会 中国五県 島根県社会福祉協議会

六、會期

昭和二十七年五月二十七、二十八、二十九、三十日 四日間

七、日程並會場

五月二十七、二十八、二日間 幼児教育講習会(松江市公会堂)
五月二十九、三十日、二日間 保育大会(松江市公会堂)

八、幼児教育講習會日程 (数字の太字は午後)

二十七日(火)受付(八・〇〇) 開会(九・〇〇) 根岸講師講習(九・〇〇—

一一・〇〇)リズム音楽講習(一・〇〇—)

二十八日(水)黒丸講師講習(九・〇〇—一二・〇〇)リズム音楽(一・〇〇—

〇—)会場は午前松江市公会堂、午後松江高等学校体育館)

講師

幼児保育に於ける製作カリキユラム 根岸草笛先生

幼児の精神衛生 大阪大学教授 黒丸正四郎先生

リズム音楽 桑 お茶の水大学教授 戸倉ハル先生

小林つやえ先生

大会役員

名譽會長 恒松安夫(知事)

名譽副會長 熊野英(市長)

藤島吾郎(教育長)

倉橋惣三

副會長 小川正道 秋田美子 青柳

美智代

顧問

島根県議會議長 島根県大社町長 島

根県副知事 山陰新報社長 島根県教

育委員会委員長 各新聞社支局長 島

根県教育委員(六名) 松江放送局長

島根県社会福祉協議會會長 松江駅長

島根県町村長會長 一畑電鉄株式會社

々々長 島根大学々々長 松江商工会議所

會頭 島根大学教育學部長 島根県觀

光連盟會長

參與

中国各県教育長(島根県を除く)——四

島根県教育次長 松江市助役

總務

島根県總務課長 松江市教學課長 島

根県教育委員會總務課長 同指導課長

同學事課長 松江市厚生課長

松江市商工觀光課長 松江市自動車部

長 松江市總務課長 島根県社会福祉

協議會事務局長 中国各県保育連合會

長(五) 日本保育連合會常任委員

委員 各都道府県保育連合會會長

九、大 會 日 程 (数字の太字は午後)

二十九日(木)開会式(九・〇〇) 議事(一〇・〇〇—一・〇〇) 記念講演

(一・一・〇〇—一・二・三〇) 昼食(一・二・三〇—一・三〇) 分科会(一・三〇

—四・三〇) 市内観光(五・〇〇—)

三十日(金)分科会(九・〇〇—一・一・〇〇) 総会・閉会式(一・一・〇〇—

一・二・三〇) 昼食(一・二・三〇—一・三〇) 大社参拝(一・三〇—)

一〇、レクリエーション

郷土芸術 五月二十九、三十日 市公会堂

(安来節、関の五本松、神代神楽)

一一、郷土名勝案内

1、五月二十九日 菅田庵、月照寺、ヘルン旧居、ヘルン記念館(自由参観)

2、同 三十日 午後大社観光(全員御接待、大社に於て解散)

一二、大會終了後の観光視察コース

第一班 大山—三朝温泉—鳥取砂丘

第二班 隠岐—島

第三班 宮島—広島

第四班 鷲羽山—岡山

第五班 萩—湯田温泉—秋芳洞

一三、宿泊料・六〇〇円(一泊三食)(主食並外食券は不要)

備考

一、大会並に分科会に対する協議題について御意見のある方は貴県の教育委員
会又は民政部児童課へ御申出て下さい。

二、松江市難町白濁幼稚園内に大会事務局をおきますので大会に対する事柄は
右へ御連絡下さい。(大会議案は二九頁を御覽下さい)

お茶の水女子大学附属幼稚園試案

幼児指導要録

記入の手引

A5判五二頁定価三五円 千八百

幼児指導要録の記入もいよいよ昭和二十六年度から始められることになりました。こゝにお茶の水女子大学附属幼稚園の試案として「幼児指導要録記入の手引」が出されました。幼児の生活の実際と評価の尺度について客観的な正しい観察の手引として一つの指針となるものがあります。幼稚園の諸先生の学年末の記入に際して役立つものと信ぜられます。

東京都千代田区神田

神保町二ノ四

発行所 株式会社 フレーベル館

してあげましようね」と言うなど、正彦が幼稚園に執着しないように努力しました。

このようにしているうちに、正彦は兄が幼稚園に行けば、母親を一人占めできると考えるようになり、朝になると、「お母ちゃん、お兄ちゃんをちよつと幼稚園において来てね」とささ言うようになりました。そして正彦の嫉妬や反抗は全くしずまりました。

しかし一方、兄が幼稚園に行きたくないという傾向が少しみえ、「今日は休もうか」とか、「お母ちゃん、ずつとついでいてね」と言いだしましたので、登園の途中のような正彦のいない場所で、「正ちゃんはお小さいけど、お兄ちゃんはいいいね」というように言つて、できるだけ喜んで登園させるようにしました。又正彦も幼稚園をあまりにいやな所だと考えるようになると思ひましたので、月

(一六頁)

第六回日保連大会議案並協議題

◎ 大会議案

一 就学前の全幼児を幼稚園又は保育所に於て保育し得る様当局にその施策を強力に要望する件

◎ 分科会協議題

A 班 ○ 第一分科会（指導者 島根大学教授 近藤正樹）

1、幼児教育に於ける弊のあり方 (和歌山)

2、幼児の社会性を培う効果的な計画と指導はどのようにあるべきか (和歌山)

B 班 ○ 小学校教育に連関した保育カリキュラムは如何に組織されるべきか (和歌山)

C 班 1、幼児教育に於ける環境の問題について (岐阜)

2 幼児指導要録の具体的取扱いについて (京都)

○ 第二分科会（指導者 島根大学教授 寺本彦） (鹿児島)

第一 部 会

1、文部省に幼稚園課設置の件（静岡） 2、教育委員会事務局に幼稚園の専任主事設置の件（鳥根） 3、児童福祉法を幼稚園へも適用されるの件（鳥根） 4、幼稚園教育の重要性を一般に認識せしめるの件（岐阜、福井） 5、幼稚園教諭養成機関充実の件（福井） 6、幼稚園教員の待遇向上策について（福井） 7、市町村立教員給与負担法中に「幼稚園教員」と明記するよう法令改正の件（福島） 8、私立幼稚園に対する国庫補助について（鹿児島、福井） 9、幼稚園増強に於ける経済的打開策如何並びに増設の計画とその状況について（三重） 10、上級免許状取得に要する経歴年数の五カ年を二カ年に短縮されたい（大阪私立）

第二 部 会

1、保育所保母養成機関を各府県に設置するの件（岡山） 2、児童措置費を平衡交付金の枠外に出されるよう当局へ要望するの件（岡山、鳥取） 3、最低基準改訂の件（鳥取） 4、保育所職員の共済組合を組織するの件（岡山）